



そうわ通信 2月号

《学校教育目標》豊かな心もち 自ら考え たくましく生きる子の育成
～学び合い 高め合う なかまづくり～

学びの様子をお届けします！

校内研究テーマ ～質の高い授業の創造～

年度末がいよいよ近づいてきました。各学年において、学びの積み残しがないように、授業ではまとめや復習を中心に、より集中して学んでいる様子が伺えます。家庭学習も含め、学びのスパイラルができるよう、努めていきます。今号では、4つの学年について、授業の様子を紹介します。

1年算数

「なんじなんぷん」つまり時計の学習です。入学前から日常で使うことなので、すでに知識として有している子もいますが、「何分前」「何分後」というのは、なかなか難しいところです。1年生の7名は、問題の一つ一つ確かめながら、そして友達とかかわりあいながら学んでいました。本校で大切にしている「問い」を見つけることにも徐々に慣れ、学びが進化しています。



3年算数

3年生の教室は、ディスカッションができる机の配置をしており、積極的に意見交換が行われていました。算数「ぼうグラフと表」という単元で、タブレットや大型提示装置も活用しながら学んでいました。3年生の児童は、ノートに自分の考えを書く・まとめるということが習慣化されており、非常に充実した学びとなっています。発言が多いのも特長です。



4年国語

国語「調べて話そう 生活調査隊」という単元の学習でした。4年生は、一年間を通してアウトプットの充実が印象に残ります。調べたことや考えたことを学級内にとどめず、学校全体を巻き込んで大きな波をつくってくれました。この単元でも、生活調査をした結果が、きっと何らかの形でアウトプットされることを今から楽しみにしています。



6年算数

6年生のこの時期の算数は、総まとめとなります。この日は、教科書等の復習問題に向き合い、知識・技能の習得があいまいなところを確認し、課題解決する時間でした。この時間には、担任以外にもう一人先生を配置し、より支援しやすい環境を整えました。中学校の数学は難しい印象がありますが、算数の発展にすぎません。必要に応じて、アドバイスし合う姿が印象的でした。



子育てアラカルト⑰ ～これは美談？～

ある日、小学3年生のAさんとその保護者が出掛けるために、電車に乗りました。乗ったときに電車は混んでいなかったのですが、二人並んで座ることができました。しばらくすると、徐々に混んできて、立つ人が多くなってきました。すると、Aさんの前に、「立ったままではなく、きっと座った方がよい…」と思われる状態の方（Bさん）が立ちました。小学3年生のAさんは、声を出す勇気がなく、席を譲るかどうかわざら迷いました。その時、隣に座っていた保護者が「席を譲ってあげたら？」とAさんの背中を後押ししました。その一言で、Aさんは勇気が湧いてきて、Bさんに「どうぞ、お座りください」と言うことができました。Bさんは「ありがとう」と言って、座ることができました。Aさんはその後、とても気持ちよい時間を過ごすことができました…。

確かこのような内容だったと記憶していますが、定かではありません…。

さて、この文章を読んで、何を感じられたでしょうか？保護者の立場になれば、Aさんのような子に育ててほしいと思ったかもしれません。また、子供が悩んでいたたり迷っていたりしたときに、ちょっとした一言でこのような行動を促したこの保護者のようでありたいと思ったかもしれませんね。

私は、この話を聞いたときに、正直「美談だなあ…」と思いました。しかし、ちょっと立ち止まってこの一連の情景をイメージしてみてください。ちょっと違和感がありませんか？いろいろな子育てがあってよいと思いますので、他のストーリーもぜひ考えてみてください。

スタジオからこんにちは！ 6年・上大井小と 4年・箱根の森小と

以前、そうわ通信で紹介した「インテリジェントビデオバー」の活用について紹介します。卒業の日が迫ってきた6年生ですが、中学校への進学に期待と不安をもち始める時期ですので、上大井小6年とリモートで交流しました。同じ中学へ進む子が多い状況ですので、話をするうちに心の距離があつという間に縮まり、不安も徐々に解消されたようでした。今後は、他校とも交流する予定があるとのことでした。

また、4年生は、社会科の学習の一環で箱根町のことを調べ、もっと詳しく知りたいという思いをもち、24日に箱根の森小とリモート交流する予定です。



栄養教室を行いました 3・4年【1月23日(月)】

1・2年生は、10月に直接、町の給食センターに見学に行き、センターの方々の仕事について、学ぶことができました。ここ数年、コロナ禍のため出向くことができなかったのが、非常によい学びの場でした。

1月に、本校の食育の学びの一環として、栄養教諭をお招きし、3・4年生が栄養教室を行いました。具体的な話を聞くことができ、新たな発見と、給食をはじめとする今後の食生活のあり方について学ぶ絶好の機会となりました。バランスよく食べる児童が多い相和つ子ですが、また一つステップアップしたと思います。動植物の命をいただいていることに感謝したいものです。



授業参観・懇談会 【令和5年2月10日】

当日は、降雪が心配されたところでしたが、昼ごろにはすっかり雪も解け、無事開催できました。ご多用のところ、多くの保護者の皆様にご参加いただき、ありがとうございました。

懇談会は、その名のとおり、そもそも保護者の懇談の場なので、担任からの報告は極力少なくしていく方向にしています。子育てに関する悩みや、他のご家庭はどうしているのだろう…という疑問点を共有する場となればと考えていますが、実際のところはいかがだったでしょうか？

さて、PTAの諸活動もまとめの時期となりました。現在広報委員の方々が、172号を作成中です。今回は、学校行事の紹介の部分が少なくなり、一年をとおしたPTA諸活動の振り返りが主となっています。ぜひ、発行された際は、担当委員の方々のご尽力を感じながら、拝読したいところです。

また、昨年9月に、優良PTA 神奈川県教育委員会表彰を受けました。それを受け、今年5月には、本校PTAの取組を、県西地区約70の単位PTAの役員等の皆さんにお伝えする機会もあります。本校PTAは、確実にアップデートしていて、とても心強いです。ありがとうございます。



6年生を送る会に向けて

6年生の卒業まで、残すところ約1か月となりました。少し寂しいですが、あらゆる場面で「卒業生」と呼ばれることとなります。卒業証書授与式が、本校への登校最終日ですが、その前にもう一つある大きな行事が「6年生を送る会」です。

徐々に、あらゆる仕事を引き継いで、張り切っている5年生ですが、この送る会が本当の意味で最上級生への試金石となります。まだまだ戸惑うことが多い様子が伺えますが、協力して準備している姿を見ると頼もしく感じます。他学年も、感謝の思いを様々な形で伝えようと、主体的に準備しているようです。人数は少なくとも、心温まる送る会が開かれることでしょう。

体力向上キャラバン隊による新体力テストのコツを伝授

毎年5月末あたりに、本校では全児童を対象に実施している新体力テストですが、個票を作成して、自分の各体力の伸びがわかるようにしています。記録の活用により、運動が苦手な子にも成長を実感させやすくなるので、大切に取扱っているところです。種目としては、「握力」「上体起こし」「長座体前屈」「回復横とび」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅跳び」「ソフトボール投げ」の8種目になりますが、体力を正確に測るには、正しいやり方を知らなければなりません。そこで、1月27日(金)にキャラバン隊2名の方にお越しいただき、その方法と記録を伸ばすコツを教えてくださいました。5月実施の記録がどのくらい伸びるのか、今から楽しみです。

